



2025.

広報

おおくわ

12

- 緊急銃猟制度について 2 P
- 森林経営管理制度について 3 P
- 年末年始の休館と休業 6 P

No.614

緊急銃猟制度について



緊急銃猟制度は、ツキノワグマ

(以下「クマ」)が、人の生活圏(建物内等)に侵入した際、人の生命又は身体に対する危害の防止を目的として、安全確保等の措置を十分に講じた上で、人の生活圏における銃猟を可能とする制度で、9月1日から施行されました。

※参考

長野県「ツキノワグマ出没時対応マニュアル」



▲長野県HP

実施条件

次の①から④の条件全てを満たした場合に、緊急銃猟が可能となります。

- ①クマが人の生活圏に侵入、又はその恐れが高い場合
- ②クマによる人の生命又は身体に対する危害を防止する措置が緊急に必要な場合
- ③銃猟以外の方法ではクマを迅速に捕獲等することが困難な場合
- ④人や引火物、爆発物に弾丸が到達

表1 対応基準 (一部抜粋)

レベル1 森林内での人とクマの接触防止	
出没状況	森林内での目撃(直接影響がない場合)
レベル2 農地・集落周辺への出没防止	
出没状況	農地・集落周辺への出没目撃
対応	▶地域住民への注意喚起 ▶県、警察、猟友会と連携したパトロール
レベル3 農作物への被害防止	
出没状況	農作物等へ執着している 繰り返し出没する
対応	▶県許可/有害捕獲(檻設置)検討・実施
レベル4 人身事故防止	
出没状況	人身事故が発生(恐れが強い場合)
対応	▶県許可/有害捕獲(檻設置)検討・実施
レベル5 人身事故防止	
出没状況	日常生活の範囲内で人身事故が発生
対応	▶市町村許可/緊急捕獲 実施(住宅密集地等では銃猟制限あり) ▶警職法による危険個体の排除
レベル6 人身事故防止	
出没状況	日常生活の範囲内で人身事故が発生 銃猟以外の方法では捕獲が困難
対応	▶市町村許可/緊急銃猟 実施

※詳細(抜粋元)は長野県HPで公開されています。

する等の危害を及ぼす恐れがない場合

課題

緊急銃猟は、国や県のガイドラインに沿って実施されます。

しかし、万が一事故になった場合、ハンターの刑事責任が問われる可能性が拭いきれないなど、緊急銃猟の実施に向けた体制を構築していく必要があるため、現在は実施が困難な状況です。

被害防止対策

村では、クマ被害防止対策として、カキやクルミなど誘引木伐採費用の補助や、ハンターが協力して出没地域に檻の設置をする等の対策を実施しています。(別表レベル3)

緊急銃猟以外の捕獲方法

●鳥獣保護管理法に基づく措置(レベル4・5)

クマによる、人の生命又は身体に対する危害が発生又は発生する恐れがあり、緊急を要すると認められるときは、捕獲許可権限が県から市町村長に移譲され、銃猟に限らず、

檻で危険な個体を捕獲できる仕組みが設けられています。ただし、住宅密集地での銃猟は制限されます。

●警察官職務執行法に基づく措置(レベル5)

クマによる人の生命又は身体等に対する危険が切迫し、その時点で捕殺しなければならぬと現場の警察官が判断した場合、現場のハンターが銃で捕殺することが出来ます。

村民の皆さんへのお願い

カキやクルミ等の誘引木の管理や、コンポスト等で生ゴミの適正な処理を行い、人の生活圏への出没を防ぎましょう。

また、村公式LINEではクマの出没情報の受信や、目撃情報の報告ができます。村からのお知らせ等も配信していますが、必要な情報のみを受け取る設定もできますので、裏表紙のQRコードから積極的に友だち追加をお願いします。

▼問い合わせ先
産業振興課 農林係
TEL *55・3080

経営や管理が適切に行われていない森林について

近年、森林所有者の高齢化や村外への転出増加などにより、森林管理の空洞化が進んでいます。村では、適切な整備が必要な森林のうち、現状整備が進んでいない私有林に対して、森林経営管理制度を活用して整備を実施しています。

森林経営管理制度ができた背景

日本の森林の所有者は、保有面積10ha未満が9割を占め、小規模です。これまで民間事業者が複数の山林の一体的管理に努めてきましたが、所有者の特定などに多大な労力と時間がかかることから、この状況が長く続くとますます森林整備が進まなくなります。その結果、森林の持つ公益的機能（治山や保水等）が低下し、住民の安全、安心な暮らしが脅かされる心配があります。

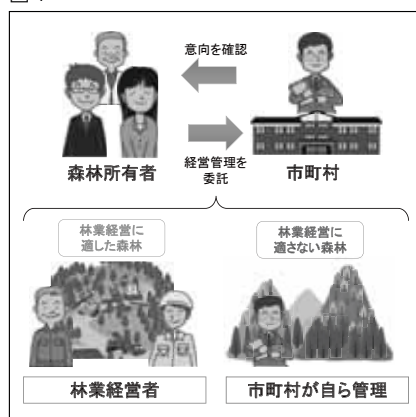
そこで市町村が仲介役となり、森林所有者と民間事業者をつなぐシステムとして、森林経営管理制度が始まりました。制度では、経営や管理が適切に行われていない森林を、市町村が代わりに管理して森林整備を進めていくことも可能になりました。

森林経営管理制度の進め方

この制度では、まず経営管理が実施できていない森林を対象に、所有者に意向調査を行います。調査の結果、経営管理を委託したい希望があり、村で経営管理権を集積する必要がある場合には、経営管理権集積計画（以下「計画」）を作成します。この計画には経営管理の内容が記されており、森林所有者から同意を得れば、村に経営管理権が設定されます。

その後は、森林の現況等を確認しながら次のとおり対応します。
① 林業経営に適している森林（経済林）は、村から民間事業者に経営管理を再委託し森林整備を行う

図1



② 林業経営に適さない森林（非経済林）は、村が経営管理を実施する中で必要な整備を行う
なお、長野県では本制度の対象森林について、過去10年以内に整備を行っていない人工林を想定しており、保安林や天然林は想定していません。

大桑村での調査状況について

村では、「大桑村森林経営管理制度実施方針」に基づき制度を運用しています。

対象となる森林は、村の森林の約21%を占める私有林のうち、村有林と団体管理の森林を除いたものとし、その中から優先順位を検討しながら進めています。

優先順位は、山の地形などからみて搬出等の行いやすい経済林であるかどうか、経済林でない場合には、早急な整備が必要かどうかなどを、現地の状況や有識者の意見などから検討して決めています。当面の間、村では経済林になり得る森林を抽出し、民間事業者による適正な森林管理を通して、森林の持つ多面的機能の維持に努めていきます。

令和2年度から阿寺地区や小川地区等で延べ129人に意向調査を行い、約139haの森林に対して経営管理権が設定されています。そのうち、両地区で合計77haについては、公募型プロポーザル方式により木曽南部森林組合に経営管理を再委託しています。

村の制度活用状況は、ホームページにも掲載していますのでご覧ください。



▲村HP

森林所有者からの申出書について

現在、実施箇所及び意向調査は実施方針に基づき選定しています。が、森林所有者は、計画作成の申出書を村に提出することもできます。申出書が提出された場合は、実施方針に基づいて経営管理が必要な森林であるかどうかを調査、検討して、計画作成の要否について回答に努めます。

ただし計画については、まとめのある地区を年度毎に策定しています。なお、申出書の提出には費用はかかりません。

▼問い合わせ先
産業振興課 農林係
TEL * 55・3080

非農地判断が始まります



農業委員会では、農業上の利用ができない農地に対して非農地判断を行います。制度の詳細は、広報おおくわNo.608（2025年6月号）に記載しています。

非農地判断の概要

非農地判断は、農地台帳に記載されている土地のうち、左記の条件に当てはまる土地について農地台帳から除外する手続きです。

農業委員が次のいずれかに当てはまると判断した場合に非農地判断が行われます。

- ①土地が森林の様相を呈しているなど農地に復元することが著しく困難であること
- ②周囲の状況からみて、その土地を農地として復元しても継続して利用することができな

非農地判断された土地は、判断が行われた年の翌年から課税地目

が変更されます。

非農地判断のスケジュール

非農地判断は令和8年2月から手続きを開始します。具体的なスケジュールは次のように予定して

年間スケジュール

令和8年						令和9年						令和10年
1月	2月	～	10月	11月	12月	1月	2月	～	11月	12月	1月	
① 非農地判断予定地通知 発送			② 現況確認			③ 農地台帳からの除外 非農地判断通知発送 (最終確認)			④ 登記地目変更 (村が一括で申請)			⑤ 課税地目決定

います。

非農地判断は、一連の流れを複数年にわたり繰り返し返していきます。判定が済んだ土地から順次、判断を行っていく予定です。

手続きの詳細は、対象地の所有者へ送付する非農地判断予定地通知で詳細に案内します。

問い合わせ先

農業委員会事務局（農林係）
Tel * 55・3080



百歳祝賀

100歳の誕生日を迎えた、上垣とよ子さん（阿寺）に、内閣総理大臣、長野県知事、大桑村長からの祝い状のほか、長寿祝い金と祝い品として銀杯が贈呈されました。上垣さんに長寿の秘訣を尋ねると、「なんでもおいしく食べること。いい家族に支えられて生きてきて、気がついたら100歳を迎えていた」

と話してくれました。坂家村長から花束を渡された上垣さんは、「こんなにうれしいことはない」と目に涙を浮かべながら話されました。



地域おこし協力隊 着任

11月1日、宮本寧々（みやもと ねね）さんが地域おこし協力隊に着任しました。

宮本さんは移住定住促進分野の担当として、役場を拠点に活動します。

○着任の抱負

11月から地域おこし協力隊として大桑村へ来ました。宮本寧々と申します。北海道出身の26歳です。

大桑村には豊かな自然に囲まれ、落ち着いた丁寧な暮らしができること、地域の皆さんとの温かい距離の近さに

魅力を感じ、移住を決断しました。大桑村にはまだ広く知られていない魅力や移住支援がたくさんあります。私自身が感じた「移住者の目線」を大切にしながら、これから移住を考えている方々へ向けて、大桑村の魅力をより多く発信していきたいと考えています。よろしくお願いします。



村長コラム 郷土料理

年末年始のお料理はどのよう
にされていますか？

昔の記憶をたどると、大晦日は、尾頭付きの魚・茶碗蒸し・煮物・白和え・酢の物などを神様にお供えし、同じ料理で家族全員そろって「年取り」をし、元旦からの松の内も雑煮をはじめ決められた献立がありました。今では我が家でも神様へお供えはしますが人様は鍋物などでそれなりに楽しんでいます。

かつて四季折々の行事食があり、特別な日の食べ物や各家庭の味がありました。時代の変化とともに今や買って食べるものになってきました。特に、ほお葉巻きやカラスミ・五平餅はどのお店のものも洗練された味で、大桑の郷土料理として贈答に重宝しております。

私としては郷土の行事料理や季節料理を次世代に伝承していきたいと考えています。皆様のご意見とお知恵をお貸しく下さい。

この1年間村行政にご支援ご

協力いただきましたことに感謝
申し上げます、来る令和8年が皆様
にとって良い年でありますよう
ご祈念申し上げます。



村長室に
来てみませんか

村長室で気楽に話をする場
「村長と話そう！」1月の日
程は次のとおりです。

▼第28回 1月15日(木)

参加を希望する人は1月8
日(木)までに役場へ連絡してく
ださい。話す内容は要望、雑
談など自由です。

気軽に申し込んでください。

▼問い合わせ先
総務課総務係

Tel * 55・3080

輝く大桑村のアスリート

鈴木 陽世梨さん

(松本大学大学院修士課程2年)



10月12日、13日に開催された、
第78回長野県陸上競技選手権大
会混成競技で、大会新記録を樹
立し、見事優勝しました。

混成競技は、100mハード
ル、走高跳、砲丸投、200m、
走幅跳、やり投、800mの7種
の競技の合計得点で競いました。

鈴木さんは「大学3年から始
めた混成競技で今回がラスト
レースでしたが、目標の点数を
大幅に超え、大会新記録で優勝
でき非常に嬉しい。今後は他の
種目を続けることになるが、常
に上を目指して頑張りたい」と、
次の目標に向けて語ってくれま
した。

番澤 勇仁さん (大桑中学校2年)

7月12日、13日に開催された、
第64回長野県中学校総合体育大
会夏季大会水泳競技大会の100
m、200m平泳ぎで優勝し、県
代表として出場した第46回北信越
中学校総合競技大会水泳競技でも
100m平泳ぎで5位、200m平
泳ぎで2位と好成績を収めました。

所属するクラブではJOCジュ
ニアオリンピックカップにも出場
しており、番澤さんは「他チーム
との練習や合宿で色々なコーチに
指導してもらい、良い結果を出す
ことができた。来年の夏は全国中
学校体育大会、国民スポーツ大会
出場を目標に、自分の限界まで
チャレンジし続けます」と語って
くれました。



地域おこし 協力隊です。

まずは自己紹介

沼田 耕一
ぬまた こういち

皆さま初めまして、5月から民間連携型の地域おこし協力隊として着任し、大桑村へ移住して参りました沼田耕一(47)と申します。神奈川県出身です。よろしくお願ひします。主な仕事は、阿寺溪谷で電動自転車のレンタル等、阿寺溪谷に関する観光振興に携わっています。

自然の中で癒しや感謝を人と共有できる仕事をしたいと思い、ブッシュクラフト(森林生活での知恵)を活かした活動で地域に貢献していきたいと思っています。

日々の活動

阿寺溪谷キャンプ場の管理運営に携わっています。ハイシーズンには県内外から多くの方がキャンプや溪谷散策に訪れました。ゴミのポイ捨て対策や交通ルールと駐車場のマナー向上は、環境保全と地域の生活環境を護る為の課題として非常に重要だと感じています。



ハイシーズンを終えた現在も溪谷周辺のゴミ拾いや通行の支障となる倒木の撤去を継続中です。

日々の活動からの気づき

自然を楽しみながらできる意識改革をしたいと考えています。ゴミのポイ捨てを始めとした問題の根本には、現代人の感謝の念の薄れがあると感じています。ブッシュクラフトからは感謝の念も学べます。枯れた枝や植物、食材の包装や空のペットボトルも活用し、豊かな自然にも文明の利器にも、それらのありがたさを感じられる自分自身にも感謝です。

これからの活動

来季からは自然を楽しむイベントを企画します。楽しみの中でこそ、より自発的な自然環境の保全や地域おこしに繋がると考えています。やってはいけないことよりも「できること」を発見する楽しみを特に大人達と共有したいです。

次代を担う子ども達に良い環境を引き継ぐ為にまずは今を造る大人達が楽しみ、向上しなきゃモッタイない!自分自身も楽しみながらそんなお手伝いをしていきます。

年末年始の休館と休業

きそバス

12月29日(月)～1月3日(土)

くわちゃんバス

12月27日(土)～1月4日(日)

乗合タクシー

12月28日(日)～1月4日(日)

大桑保育園

12月27日(土)～1月4日(日)

子育て世代抱括支援センター(まめっこ)

12月27日(土)～1月4日(日)

大桑村図書館

12月27日(土)～1月5日(月)

ごみ収集

12月27日(土)～1月4日(日)

【年末特別持ち込み】※可燃ごみ(一般)

12月29日(月) 9時～15時

木曽グリーンセンター TEL 24-3131

リサイクルステーション閉鎖(役場上、くわっこ工房横)

12月26日(金)16時～1月5日(月)8時30分

汲み取り

12月27日(土)～1月4日(日)

※年内の汲み取り受付は19日(金)まで
(有)環境サービス TEL 52-2587

村民体育館

12月27日(土)～1月4日(日)

野尻連絡所・須原郵便局・各種証明書発行

12月27日(土)～1月4日(日)



道路除雪作業に ご協力をお願いします。

除雪作業は、通常10～15cm程度の積雪を目安に出動し、村内163路線、約102kmの除雪を行っています。

積雪時には村内の建設等関係業者16社の協力により、通園、通学バス路線や交通量の多い幹線道路を優先的に、早朝から一斉に作業を行います。降雪の状況によっては作業が遅くなってしまう地域があります。

除雪作業について次の点にご協力ください。作業に伴う騒音振動など迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

除雪作業について次の点にご協力ください。

路上駐車はしない

路上に駐車車両があると周辺の除雪ができず、除雪作業に大きな支障となります。路上駐車をしないようにお願いします。

除雪車に近づかない

除雪車の近くは、運転手から死角となり大変危険です。特にお子さんやご年配の方はご注意ください。

玄関先等の除雪

除雪車による作業の後は、玄関先等に雪が残ってしまいます。地域の皆様のお力で除雪をお願いします。

道路沿いの竹木

雪の重みで道路へ覆いかぶさり通行の妨げになります。降雪前に私有地の竹木の点検をお願いします。



身近な道路の除雪や融雪剤散布にご協力ください。

例年どおり村内各所に融雪剤を配布しますのでご利用ください。融雪剤の補充や、指定場所以外の村道等で必要な場所がありましたら、役場建設係まで連絡してください。



▲ 融雪剤置き場の例
ほかにもドラム缶や入れ物なしの場合もあります。



▲ 除雪作業の様子

お問い合わせ先

- ▶ 国道に関すること：飯田国道事務所 木曽維持出張所
- ▶ 県道に関すること：木曽建設事務所 維持管理課
- ▶ 村道に関すること：大桑村役場 建設水道課 建設係

TEL 22-3011
TEL 25-2239 (直通)
TEL **55-3080

消防団出初式のお知らせ

令和8年1月11日(日)に大桑村消防団の令和8年出初式を開催します。

開催日時・場所

令和8年の出初式は第3分団地籍(野尻)で行われます。式典は10時から大桑小学校体育館で行われ、11時過ぎからは分列行進を古谷齒科医院から野尻駅まで予定しています。

出初式は式典、分列行進ともに観覧自由です。

分列行進中、区間内では車両の通行を一時的に制限します。非常線内に立ち入る場合は、誘導する団員の指示に従ってください。

また、路上駐車等はいらないようご協力をお願いします。

出初式とは

出初式は、消防団の仕事始めの行事で古くは江戸時代から行われています。

消防団員の士気向上、規律維持に加え、住民に安全の重

要性を体感する機会を提供し、防火思想の普及を図ることを主な目的として開催されます。冬場は空気の乾燥に加え、火の扱いが増えるため、火災が発生しやすい季節です。火の取り扱いには十分に注意して年末年始をお過ごしください。



▲ 令和7年出初式 分列行進の様子

▼ 問い合わせ先
総務課 総務係
Tel * 55・3080

消防団員募集

大桑村消防団は団員131名が活動しています。

地域の安心・安全を守るためには、性別を問わず多くの人材が必要です。そのため消防団では団員を随時募集しています。興味のある人は問い合わせてください。



消防団とは

消防団は各市町村に設置される消防機関です。

消防団員は非常勤特別職の地方公務員となり、火災や地震等の発災時に自宅や職場から現場に駆け付け消火及び救助活動等を行います。

入団資格

村に居住または勤務する18歳以上45歳の人

主な活動

・火災発生時の消火活動

・発災時に備えた訓練
・地域の防災訓練や啓発活動

報酬

消防団員は、他に本業を持ちながら参加するボランティアの性格を併せ持ちますが、無償ボランティアではありません。年額報酬及び、活動実績に基づく活動費が個人に支給されます。金額は役職、活動内容によって違いがあります。

組織

現在、大桑村消防団は3分団体制で活動しています。入団後は各居住地別に、須原地域第1分団、長野地域第2分団、野尻地域第3分団でそれぞれ活動を行います。他にも、広報活動を行うラップ班、救護及び啓発活動を主とする女性消防団、OB団員で組織する機能別消防団などがあります。

▼ 問い合わせ先
総務課 総務係
Tel * 55・3080



この時期注意!!

「ヒートショック」

冬は急激な温度変化によって、心筋梗塞や不整脈、脳梗塞、脳出血といった命にかかわる疾患への注意が必要な時期です。

また、冬になると「ヒートショック」という言葉を耳にします。これは、暖かい場所から寒い場所に移動した時、体の熱を逃がさないよう血管が収縮して血圧が上がり、逆に寒い場所から暖かい場所に移動した時は血管が広がり血圧が下がる、この急激な温度変化で血圧が急激に上下することで健康被害を起こすことをいいます。今回はこの冬場に特に注意してほ

しい「ヒートショック」の予防方法などを紹介します。

ヒートショックが 起こりやすい状況



●入浴時

脱衣所や浴室は暖房設備がないことが多く、冬場は室温が10℃以下になることもあります。寒い場所で脱衣し、浴槽の暖かい湯につかることで血圧の急上昇急低下を起こしてしまいます。

●部屋の移動

冬場は屋内でも、暖房を使っている部屋と使っていない部屋の温度差があるため、急激な血圧の変化を生じる危険性があります。

ヒートショックの症状

ヒートショックを起こすと、次のような症状や疾患を起こすことがあります。

●めまい・立ちくらみ

入浴時に浴槽から立ち上がる時に生じやすい症状です。

●失神

血圧の急激な上下によって短時間に突如として意識を失います。

●心筋梗塞

心臓の冠動脈の血流が血栓等で妨げられることで、心筋の一部が壊死してしまう疾患で、強い胸の痛みや圧迫感が突然起こります。血圧の急激な上下変動が発症リスクを高めます。

●脳梗塞

脳の血管が血栓等で詰まることで、脳の働きが悪くなり、麻痺などの症状がでます。血圧の急激な変動が脳血管への負担となり、脳梗塞を起こしやすくなります。

ヒートショックを 起こしやすい人

●高齢者

若い人と比べ血管が硬くなっており、血圧の変動に伴うリスクが大きくなります。また、温度差を自覚しにくい、体温を維持する機能が低下している等、全般的にリスクがあります。

●生活習慣病（高血圧、脂質異常、糖尿病など）を持つ人

動脈硬化により血管の柔軟性が損なわれている可能性があり、血圧の変動幅が大きくなるためリスクがあります。



浴室や脱衣所等での対策

- ①入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- ②湯温は40度以下、湯船につかる時間は10分未満を目安にしましょう。
- ③浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
- ④入浴前後にしっかりと水分を摂りましょう。
- ⑤食後すぐの入浴や、飲酒後の入浴は避けましょう。
- ⑥同居家族がいる場合は、入浴前に声をかけて意識してもらいましょう。
- ⑦寒い場所へ行く時は、上着や厚手の靴下を着用しましょう。

最後に

ヒートショックは、急激な温度差による血圧の上昇下降によって起こります。入浴時だけでなく、温度変化のある場所への移動は注意が必要です。寒さの本番はこれからです。部屋を暖める、暖かい服装をする等の工夫をし、リスクを減らす対策をとりましょう。



長野県最低賃金のお知らせ

長野労働局労働基準部
賃金室

TEL 026・223・0555

長野県内の事業場で働く全ての労働者に適用される「長野県最低賃金」が、令和7年10月3日から時間額1,061円に改正されています。この機会にご確認ください。

なお、対象となる賃金は、通常の労働時間・労働日に対応する賃金で、臨時に支払われる賃金、精皆勤手当、通勤手当及び家族手当などは含まれません。

また、中小企業・小規模事業者等に対する賃金の引き上げの環境整備、雇用の維持を図るための支援策を実施していますので、ご利用ください。

「助成金」に関する問い合わせ

業務改善助成金
長野労働局雇用環境・均等室

TEL 026・223・0560

キャリアアップ助成金

長野労働局職業対策課
TEL 026・226・0866



関西電力株・村共同環境整備

11月18日(火)、関西電力株式会社と村の共同で、和村須原発電所周辺の草刈りなど環境整備を行いました。ありがとうございました。



年末の交通安全運動

住民課生活環境係

TEL *55・3080

12月15日(月)から12月31日(水)まで年末の交通安全運動が実施されます。

冬は降雪や凍結により道路環境が悪くなる季節です。また、年末は、飲酒や夜間に歩く機会が増えるため、交通事故に一層の注意が必要です。

次のポイントを再確認し、日頃から交通安全を意識して行動しましょう。

- ①夜間の交通事故防止
- ②高齢者の事故防止
- ③飲酒運転の根絶

特に、飲酒運転は重大事故の原因となり、被害者も加害者も一瞬で人生を棒に振ってしまいます。飲酒運転をしない、させない、許さない環境を作りましょう。

村内では、12月17日(水)に道の駅大桑で10時から11時まで交通指導所が開設されます。

「残さず食べよう! 30・10運動」って知っていますか?

長野県環境部資源循環推進課

TEL 026・235・7181

楽しかった宴会が終わりに近づいたところ、ふとテーブルを見るとたくさん料理が残っている!こんな経験はありませんか?

宴会ではたくさんの料理が残ってしまいがちです。もったいないですよ。

「30・10運動」とは松本市発祥で、食べ残しを減らすために「乾杯後の30分間」と「お開き前の10分間」は自分の席で料理を楽しむという取組です。「食べきりで気持ちのよい宴会にしましょう!」



▲長野県HP
残さず食べよう!
30・10運動

山本貴志
クリスマス
ピアノコンサート

木曽文化公園

TEL *23・8011

木曽文化公園では、「山本貴志クリスマスピアノコンサート」を開催します。

山本さんは、国内外の数々のピアノコンクールで輝かしい成績を収めた、長野県出身のピアニストです。今回のコンサートでは、前半はショパン、後半はクリスマスプログラムをお届けします。

繊細な音の世界と生命力あふれる演奏を是非お楽しみください。

日時

12月21日(日)
13時30分から

場所

木曽文化公園



チケット

一般 3,000円
学生 2,000円
※全席指定

1月の行事予定

1 木
2 金
3 土
4 日
5 月 官公庁仕事始め
6 火 3 保期始め（保育園） 健康教室（野尻地区館）
7 水 3 学期始業式（中学校）
8 木 3 学期始業式（小学校） らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
9 金
10 土 推しレコ！（図書館）
11 日 消防団出初式（野尻地区）
12 月
13 火 健康教室（野尻地区館）
14 水 ゴールデンシューの日（野尻地区） 村長と話そう！（役場）
15 木 小正月（保育園） らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
16 金
17 土
18 日
19 月
20 火 まめっこおはなし会（図書館） なんでも相談（須原地区館） 健康教室（野尻地区館）
21 水
22 木 らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
23 金
24 土 図書館 de シネマ（図書館）
25 日
26 月
27 火 スキー教室（小学校） 健康教室（野尻地区館）
28 水
29 木 1 日入園（保育園） らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
30 金
31 土

※都合により、変更・中止になる可能性があります。



教 室	会 場	時 間	開 催 日
英 会 話	①	14：00	7、14、21、28
英 会 話	①	19：30	7、14、21、28
押 し 花 教 室	②	10：00	16
レザークラフト	—	—	1月～2月休講
陶 芸 教 室	—	—	1月～2月休講
コール・マルベリー	①	19：30	7、21
	②	19：30	14、28
詩吟岳風会大桑教室	⑥	9：30	7、14、21、28
リフレッシュヨーガ	⑦	19：00	14、21、28
あゆみ整体教室	—	—	1月～3月休講
フラ教室〈昼〉	—	—	1月休講
フラ教室〈夜〉	—	—	1月休講
舞DANCE木曾& 日本舞踊はなやぎ	⑤	14：00	17、31
池坊いけばな教室	③	12：30	13、27
ヨガ・エクササイズ	③	20：30	14、21、28
太極拳サークル 円	③	10：00	10、24

会 場 ①役場、②野尻地区館、③須原地区館、④殿分館、
⑤村民体育館、⑥橋場分館、⑦弓矢分館
※各教室とも随時参加者を募集しています



11月1日
小学校
音楽会



令和7年度 大桑村育樹祭

11月8日
育樹祭



11月14日 ゴールデンシュの日 (大正村)



11月の
できごと



11月16日
野尻分館 防災避難所体験学習会



11月19日
中学2年生 乳幼児ふれあい体験 (事前学習)



11月14日
保育園
遠足



11月21日 小学校 マラソン記録会

村の人口

1,465 世帯 (前月比 + 4 世帯)	男 (人)	女 (人)	計 (人)
出生	0	0	0
死亡	3	2	5
転入	9	8	17
転出	1	6	7
総人口 (前月比)	1,541 (+ 5)	1,609 (± 0)	3,150 (+ 5)

(12月1日現在・住民基本台帳登録人数)

1月の緊急当番医

日	緊急医名	電話番号
1 日(木)	奥原医院 (木祖村)	36-2264
2 日(金)	王滝村診療所 (王滝村)	48-2731
3 日(土)	原内科医院 (木曽町福島)	22-2678
4 日(日)	芦沢医院 (上松町)	52-2018
11 日(日)	大脇医院 (上松町)	52-2023
12 日(月)	田沢医院 (木曽町開田)	44-2008
18 日(日)	古根医院 (大桑村)	55-1188
25 日(日)	木曽みたけ診療所 (木曽町三岳)	46-2266

木曽病院 (木曽町福島) TEL 0264-22-2703
坂下診療所 (中津川市坂下) TEL 0573-75-3118
中津川市民病院 (中津川市) TEL 0573-66-1251

表紙によせて

11月18日、大桑小学校1、2年生の児童が人権学習の一環として、ボッチャを体験しました。ボッチャは、障がいの有無に関わらず全ての人が一緒にできる、パラリンピックの正式種目にもなっている競技で、ジャックボール(目標球)に持ち球を投げたり転がしたりして、いかに近づけるかを競うスポーツです。

はじめは勝負に一喜一憂していた児童たちでしたが、先生や指導員から「勝っても負けても、みんなで楽しむことが1番」と教わり、各々の自由な投げ方で敵、味方関係なく、全員で楽しく盛り上がりました。



大桑村公式LINE
友だち追加はこちら



大桑村公式X
(旧 Twitter)



デジタル回覧板

